

数字の2が書かれたカードが2枚、同様に、数字の0, 1, 8が書かれたカードがそれぞれ2枚、あわせて8枚のカードがある。これらから4枚を取り出し、横一列に並べてできる自然数を  $n$  とする。ただし、0のカードが左から1枚または2枚現れる場合は、 $n$  は3桁または2桁の自然数とそれぞれ考える。例えば、左から順に0, 0, 1, 1の数字のカードが並ぶ場合の  $n$  は11である。

- (1)  $a, b, c, d$  は整数とする。  $1000a+100b+10c+d$  が9の倍数になることと  $a+b+c+d$  が9の倍数になることは同値であることを示せ。  
 (2)  $n$  が9の倍数である確率を求めよ。  
 (3)  $n$  が偶数であったとき、 $n$  が9の倍数である確率を求めよ。

(18 北海道大 理 3)

【答】

- (1) 略  
 (2)  $\frac{9}{70}$   
 (3)  $\frac{1}{7}$

【解答】

- (1)  $10 \equiv 1 \pmod{9}$  より

$$\begin{aligned} & 1000a + 100b + 10c + d \\ &= 10^3a + 10^2b + 10c + d \\ &\equiv a + b + c + d \pmod{9} \end{aligned}$$

$1000a + 100b + 10c + d$  を9で割った余りと  $a + b + c + d$  を9で割った余りは等しい。したがって、 $1000a + 100b + 10c + d$  が9の倍数になることと  $a + b + c + d$  が9の倍数になることは同値である。……(証明終わり)

- (2) 8枚のカードはすべて区別して考える。

このとき4枚を取り出して一列に並べる方法は

$$8 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 \text{ 通り}$$

あり、これらは同様に確からしい。

横一列に並べた数字を左から  $a, b, c, d$  とすると

$$n = 1000a + 100b + 10c + d$$

であり、 $n$  が9の倍数あることは、(1)より  $a + b + c + d$  が9の倍数であることである。

$$\begin{aligned} 0 + 0 + 1 + 1 &\leq a + b + c + d \leq 2 + 2 + 8 + 8 \\ 2 &\leq a + b + c + d \leq 20 \end{aligned}$$

より、 $a + b + c + d$  が9の倍数になるのは

$$a + b + c + d = 9 \text{ または } 18$$

のときであり、 $\{a, b, c, d\}$  が

- (ア)  $\{0, 0, 1, 8\}$  ( $0 + 0 + 1 + 8 = 9$ )  
 (イ)  $\{0, 2, 8, 8\}$  ( $0 + 2 + 8 + 8 = 9 \cdot 2$ )

(ウ)  $\{1, 1, 8, 8\}$  ( $1 + 1 + 8 + 8 = 9 \cdot 2$ )

のいずれかの場合に限られる．同じ数字のカードが2枚ずつあることに注意すると，並べ方の総数は

(ア) のとき,  ${}_2C_2 \cdot {}_2C_1 \cdot {}_2C_1 \times 4! = 4 \times 4!$  (通り)

(イ) のとき,  ${}_2C_1 \cdot {}_2C_1 \cdot {}_2C_2 \times 4! = 4 \times 4!$  (通り)

(ウ) のとき,  ${}_2C_2 \cdot {}_2C_2 \times 4! = 1 \times 4!$  (通り)

より, 全部で

$$(4 + 4 + 1) \times 4! = 9 \times 24 \quad \text{通り}$$

ある．求める確率は,

$$\frac{9 \times 24}{8 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5} = \frac{9}{70} \quad \dots\dots(\text{答})$$

(3)  $n = 1000a + 100b + 10c + d$  が偶数あるのは,  $d$  が 0, 2, 8 のいずれかであり

$${}_6C_1 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 = 7 \cdot 6^2 \cdot 5 \quad \text{通り}$$

ある．これらは同様に確からしい．

(ア) で偶数になっているものは,  ${}_2C_2 \cdot {}_2C_1 \cdot {}_2C_1 \times 3 \cdot 3! = 4 \times 18 = 72$  (通り)

(イ) で偶数になっているものは,  ${}_2C_1 \cdot {}_2C_1 \cdot {}_2C_2 \times 4! = 4 \times 24 = 96$  (通り)

(ウ) で偶数になっているものは,  ${}_2C_2 \cdot {}_2C_2 \times 2 \cdot 3! = 1 \times 12 = 12$  (通り)

求める確率は

$$\frac{72 + 96 + 12}{7 \cdot 6^2 \cdot 5} = \frac{180}{7 \cdot 6^2 \cdot 5} = \frac{1}{7} \quad \dots\dots(\text{答})$$